

わたしはぶどうの木、
あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、
わたしもその人につながっていれば、
その人は豊かに実を結ぶ。
～ヨハネによる福音書15：5-9～



shalom

～聖愛中学校通信～

shalom (シャローム) は「平和」を意味するヘブライ語。
「こんにちは」「さよなら」の挨拶として使われています。

はじめに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

新約聖書 ヨハネによる福音書1：1

最近、使い方が気になる日本語にモヤモヤしている私です。いくつか紹介します。

1 「～(して)あげて」 物に対する究極の愛情表現？

「お肉にタレをもみこんであげて」「化粧水でお顔をよくマッサージしてあげて」など、物を人扱いしているようで何か変です。自転車や化粧品に「この子に出会いました」という人までいますが、もはや私はついていけません。

2 「～の方(ほう)」 …方、…方の連発も「え～…え～…」「まっ…まっ…」の連発も聞き苦しい！

「明日処理の方をさせていただきます」「会議の方を始めます」「お箸の方おつけします」。丁寧な感じもしますが「～の方」ってどの方？対象が2つ以上に対して使うのならわかりますが、別になくても問題はあります。癖がついている人はご注意ください。「～というふうな…」も「～の方」と同様に、なくてもいい曖昧な表現です。

3 「～になります」「～の形になります」 どんな形？このあと一体何になる(変わる)のでしょうか？

ファストフード店やコンビニで聞かれるこの言葉。「お釣り30円になります」「こちらが商品になります」とか、以前から間違った言葉遣いとして知られ、つい言ってしまう人も少なくないようですが、「～です」が良いのです。「〇〇はご自分でご用意していただく形になります」こうなると、もはや日本語としてどうでしょう。店の注文確認で使われる「～でよろしかったですか？」…たった今のことなのに、なぜ、もう過去のことにするのでしょうか？

◆三味線体験講座 (3年) 5月17日(月)～5月31日(月) 計3回

今年も講師に渋谷幸平さん(黒石市)をお招きしました。1回目は、三味線の歴史や演奏方法についての説明の後に、「さくら」の出だしを一人ずつ演奏体験。2回目から1番のフル演奏の練習です。

日本の音楽に触れる機会として、今年は2年生も「琴の体験講座」を3学期に行います。

